

(3) 総合型選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入学共通テストは課しません。

外国語学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
英 米 学 科	20	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑥文部科学大臣の指定した者	〈1次選考〉 英語による模擬授業の受講後、筆記試験を課す。筆記試験は、模擬授業の内容の理解度及びそれに基づく思考力・表現力を見る試験（英文和訳及び英作文を含む。）とし、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	英語による模擬授業 筆記試験	45分 90分	150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	面接（注1） （英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。）	—	
国際関係学科	10	⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 小論文の成績に基づき、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	小論文	60分	150
			〈2次選考〉 集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）2次選考の面接は、英語及び日本語で行います。また、1次選考の英語による模擬授業の理解度などを見るために、ディスカッションも課します。

地域創生学群

学 類	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
地域創生学類	60	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を2026年4月から2027年3月に卒業した者又は卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者（2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。） ⑥文部科学大臣の指定した者（2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。） ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に2026年4月から2027年3月までに合格した者又は合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 集団討論、自己推薦書（1200字）、調査書を総合的に評価して、2次選考対象者（100名程度）を決定する。	集団討論（注1） （自己推薦書） （調査書）	—	200
		〈2次選考〉 1次選考の結果、小論文及び個別面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	小論文 個別面接	60分 —	100 200	

（注1）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

国際環境工学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等			
				時間	配点		
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑥文部科学大臣の指定した者 ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1）	－	100	
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 （注2）	－	200	
建 築 デ ザ イ ン 学 科	5		〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1）	－	100	
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 （注3）	－	200	
生 命 工 学 科	8		〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績、数学を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1） 数学（注4）	}	－	100
			〈2次選考〉 課題解決型記述問題（事前課題）、面接および1次選考結果の合計点から合格者を決定する。	課題解決型記述問題（注5）に関する口頭試問及び個別面接（注6）		60	200
					－	250	

（注1）日本の高校を卒業していない外国籍の志願者については、日本留学試験の成績を利用できます。利用する場合は、「2025年度日本留学試験」の第2回又は「2026年度日本留学試験」の第1回で、「日本語」「理科（物理・化学）」「数学（コース2）」を全て受験してください。（出題言語：日本語）
※生命工学科の理科については、物理、化学、生物から2科目選択してください。
（注2）面接では、課題探究試験（課題は当日に提示）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。
（注3）面接では、課題探究試験（7月下旬頃、ホームページで課題のテーマを提示予定）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。
（注4）数学の基礎的な知識、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。
（注5）課題解決型記述問題は、1次選考合格者にレポートとして事前に提出してもらいます。（7月下旬頃、ホームページで課題を提示予定）
（注6）個別面接では、課題解決型記述問題（事前課題）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。

(4) 帰国子女学生特別選抜

大学入学共通テストは課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個 別 テ ス ト 等		
					科 目 等	時間	配点
外国語学部	英 米 学 科	若干名	保護者の海外在留により外国において学校教育を受けた日本国籍を有する者のうち、2025年4月1日以降に帰国したもので次の各号のいずれかに該当する者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月31日までに修了見込みの者（上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育期間も含まれるが、外国において最終学年も含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠している学校に在学した者については、その期間を外国において教育を受けた期間とはみなさない。） ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④ フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ 英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者 ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者 ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの	個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。	日本語小論文 英語小論文 面接	90分 －	200 30
	中 国 学 科	若干名			日本語小論文 面接 TOEFL又はTOEIC(注1)	90分 －	70 60 70
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 面接（注2） （TOEFL又はTOEIC(注1)）	90分 －	100 200
経 済 学 部		若干名			小論文 面接	90分 －	70 30
文 学 部	比 較 文 化 学 科	若干名			小論文 面接	90分 －	170 30
	人 間 関 係 学 科	若干名			小論文 面接	90分 －	140 60
法 学 部	法 律 学 科	若干名			小論文 面接	90分 －	100 100
	政 策 科 学 科	若干名					

（注1）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。
（注2）TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。